

(別紙4(2))

目標達成計画

事業所名 グループホームおおくにの家

作成日 令和5年 1月 30日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。※外部評価実施軽減手続きに必要な参考資料となりますので、必ずご記入の上、写しを県社協へご提出ください。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	1	本人の希望に沿った、個別性の高い活動内容を提供することが十分にできていない。	一人ひとりの日常活動での希望を聴取し、それぞれが希望する活動を提供することができる。	各利用者の担当職員が、週に1度は時間を掛けて本人と話をする時間を確保し、現在の気持ちや希望を職員間で共有し、活動として提供できるように検討する。	2ヶ月
2	2	コロナ禍のため、外出や外部との交流の行事が制限されている。	感染対策を行いながら、外出や外部との交流を行う事ができる。	県内の感染状況に応じて、感染が落ち着いてきた状況では、家族や地域住民と交流できるような行事を計画していく。	3～6ヶ月
3	3	職員によって、利用者に対する介助方法に違いがあることがある。	職員間で情報を共有し、計画したケア方針に基づき、統一したケアを行う事ができる。	申送りノートを活用した情報共有を密に行い、検討事項については随時職員間でのカンファレンスを行っていく。	1ヶ月
4					